

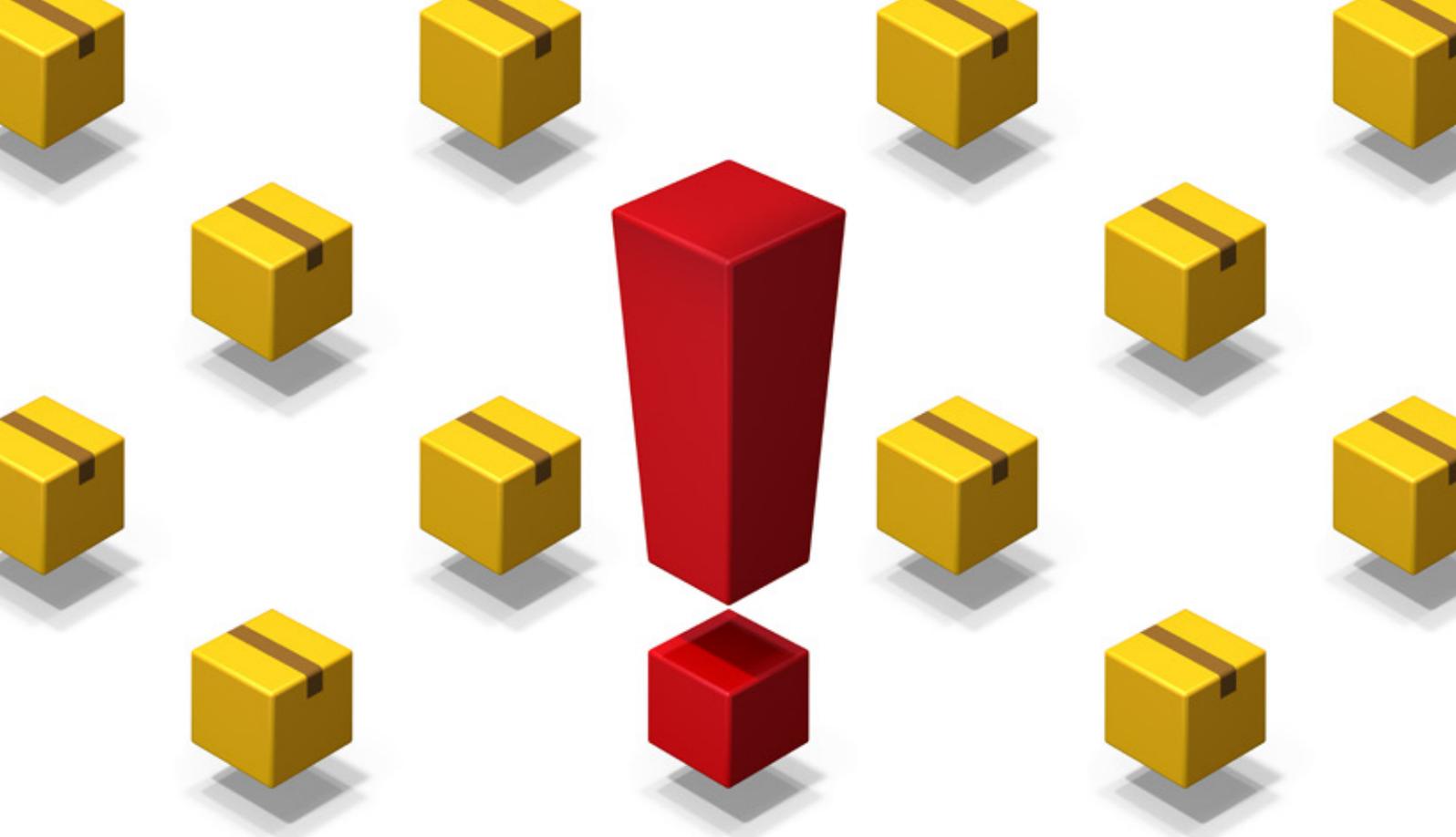


ハンドボール

2
FEB.2019
No.588



- 第70回日本選手権大会(女子の部)
- 第27回JOCジュニアオリンピックカップ
- 第16回日本車椅子ハンドボール競技大会



世界が驚く、 物流をつくらう。

東京2020大会を、物流から支えています。



東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナー



プレミアム・リゾートという選択

一戸建て住宅型有料老人ホーム



メディケアサポートHABA

2017年12月伊豆高原にオープン

12/1(金)より予約申し込み開始!

☎ 0557-51-7887 (担当 土屋・はば)

私たち株式会社ユリカコーポレーションは、お客様方へ不動産を用いたライフプランをご提案しております。自社ブランドである『YURIKA ROSE』(ユリカ ロゼ)シリーズや、社有物件も展開! 待望の2020年『東京オリンピック』まで、いよいよカウントダウンが始まりました。弊社も選手達と共に邁進していきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



私達、株式会社ユリカコーポレーションは女子ハンドボールを応援しています!!

株式会社ユリカコーポレーション

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6-2 神田セントラルプラザ1202

TEL : 03-3525-8986 / FAX : 03-5295-8188 <http://yurika-co.jp/>





あたたかい空へ。あたらしい空へ。

ANA Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER 

Eat Well, Live Well.

Aji
AJINOMOTO.

Behind Your "Best"



車いすバスケットボール
鳥海 達志 選手

バドミントン
松友 美佐紀 選手



競泳
瀬戸 大也 選手

バドミントン
高橋 礼華 選手

ハンドボール
原 希美 選手
ハンドボール
永田 しおり 選手
ハンドボール
横崎 彩 選手

空手
喜友名 諒 選手



5人制サッカー
加藤 健人 選手
5人制サッカー
黒田 智成 選手

パラ水泳
一ノ瀬 メイ 選手
パラ水泳
木村 敬一 選手
パラ水泳
山田 拓朗 選手



©The Asahi Shimbun via Getty Images
©Atsushi Tomura/Getty Images for Tokyo 2020
©Junya Nishigawa - PARAPHOTO/Getty Images
©Ian MacNicol/Getty Images ©JBFA ©X-1

味の素(株)は「勝ち飯®」メニューを選手に提供することで、
東京2020オリンピック・パラリンピック日本代表選手団を応援しています。

＼ がんばる人のチカラになるごはん！

勝ち飯®

オリンピック・パラリンピック日本代表選手団が、世界で勝つために。

味の素(株)は、独自の栄養プログラム「勝ち飯®」メニューで、
彼らのカラダづくりを支えています。



東京2020オフィシャルパートナー
(調味料、乾燥スープ、アミノ酸ベース顆粒、冷凍食品)



【表紙の写真】
第70回日本選手権

CONTENTS

07 「ハンドボールフィーバー」となるように

——(公財)日本ハンドボール協会常務理事、事業本部長・大橋則一

第70回日本選手権大会(女子の部)

08 大会結果

10 大会を終えて——大阪ハンドボール協会理事長・繁田順子

12 優勝：ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング 監督・大城 章

13 優勝：ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング 主将・山野由美子

14 戦評

第27回JOCジュニアオリンピックカップ

15 最終順位・個人表彰

16 大会を振り返り——大会事務局・星野真也

18 男子優勝：沖縄県選抜 監督・友利彬彦、主将・伊禮颯雅

19 女子優勝：愛知県選抜 監督・中谷秀将、主将・水谷朱里

21 戦評

第16回日本車椅子ハンドボール競技大会

23 総評——日本車椅子連盟 沖 史也

26 「コーチ・レフェリーシンポジウム 2018 in 熊本」開催の報告

——指導委員会 講習会企画専門委員長 船木浩斗

28 【熊本通信】「2019女子ハンドボール世界選手権大会を大成功させる会」が設立されました！

がんばれハンドボール 20万人会「サポート会員」12月入会・継続会員

【茨城】前川千尋【千葉】金牧 稔【東京】大熊昌巳【神奈川】島田信弘【山梨】原 直人【富山】吉水慎一、林 裕子
【愛知】野田 清【三重】細野秀男【岐阜】塚原清香【滋賀】高島典克【京都】守本幸三郎【大阪】山本伸二、中村美恵子
【鳥取】足立雄貴【広島】白石 隆【愛媛】名越壮汰

次号3月号(No.589)は3月1日発行予定です。



毎日、行きたくなる。
わざわざ行きたくなる。

LECT

ようこそ、
あなたの
時間へ。

[LECT] 広島市西区扇二丁目1番45号 または lect.izumi.jp

株式会社イズミ <http://www.izumi.co.jp>

本社 〒732-8555 広島市東区二葉の里三丁目3番1号 TEL 082-264-3211(代)



「ハンドボールフィーバー」 となるように



公益財団法人 日本ハンドボール協会 常務理事
事業本部長

大橋 則一

日頃、日本ハンドボール協会の事業にご支援ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
2019年も早いものであっという間に1か月が経過いたしました。

1月10日から27日までドイツ・デンマークにて開催されました第26回男子世界選手権では、善戦はしたものの勝ち星を得ることができず、24位と非常に厳しい結果となりました。2020東京オリンピックでは、必ずや良い結果を残すよう日本ハンドボール協会一丸となって強化に取り組んで参ります。

今、スポーツの話題は、なんといってもテニスの大坂なおみ選手の「全豪オープン優勝」、「男女通じてアジア人初の世界ランキング1位」ではないでしょうか。大坂なおみ選手には敬意を払うと共に、この大坂なおみフィーバーのように、近い将来、「ハンドボールフィーバー」となるようにしたいと願っております。これは私だけの「思い」ではないと思っております。

2019年ハンドボール界のビックイベントである熊本女子世界選手権では、成績はもちろんのこと、大会を成功させるために熊本県、熊本市、熊本県ハンドボール協会と共に準備を進めているところです。大会の成功には、ハンドボールファンの皆さん、また都道府県協会はじめ全国の皆さんの力も必要です。「チーム JAPAN」として大会を盛り上げることができるようご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

大会を成功させるための一つとして、また2020東京オリンピックに向けて、JAPAN CUPの開催も計画しております。今年の年末には、全てにおいて「東京オリンピックにつながる事ができた！」となるようにしたいと思っております。

話題は変わりますが、2020東京オリンピックの開催期間である夏の時期は、国内において小学生、中学生、高校生等の全国大会も開催されます。東京オリンピックに人的資源等注力されますが、将来の日本を担う宝である彼ら、彼女らの大会を、東京オリンピックに負けず劣らぬよう盛り上げる必要があります。こちらは高体連、中体連等の方々と協力し、準備を進めて参ります。

以上のように国際大会はもちろんのこと、国内のあらゆる大会が、今後益々盛大に、また夢のある大会になるよう取り組むのはもちろんのこと、ハンドボールがより広まるような施策を企画して参ります。

繰り返しになりますがハンドボールの発展のためには、大勢の方々のお力が必要です。皆さん、引き続き、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

第70回日本選手権大会 (女子の部)



南

開催期間 2018年12月19日～12月23日
 開催地 大阪府・大阪市、守口市
 会場 丸善インテックアリーナ大阪
 (大阪市中央体育館)、
 守口市民体育館

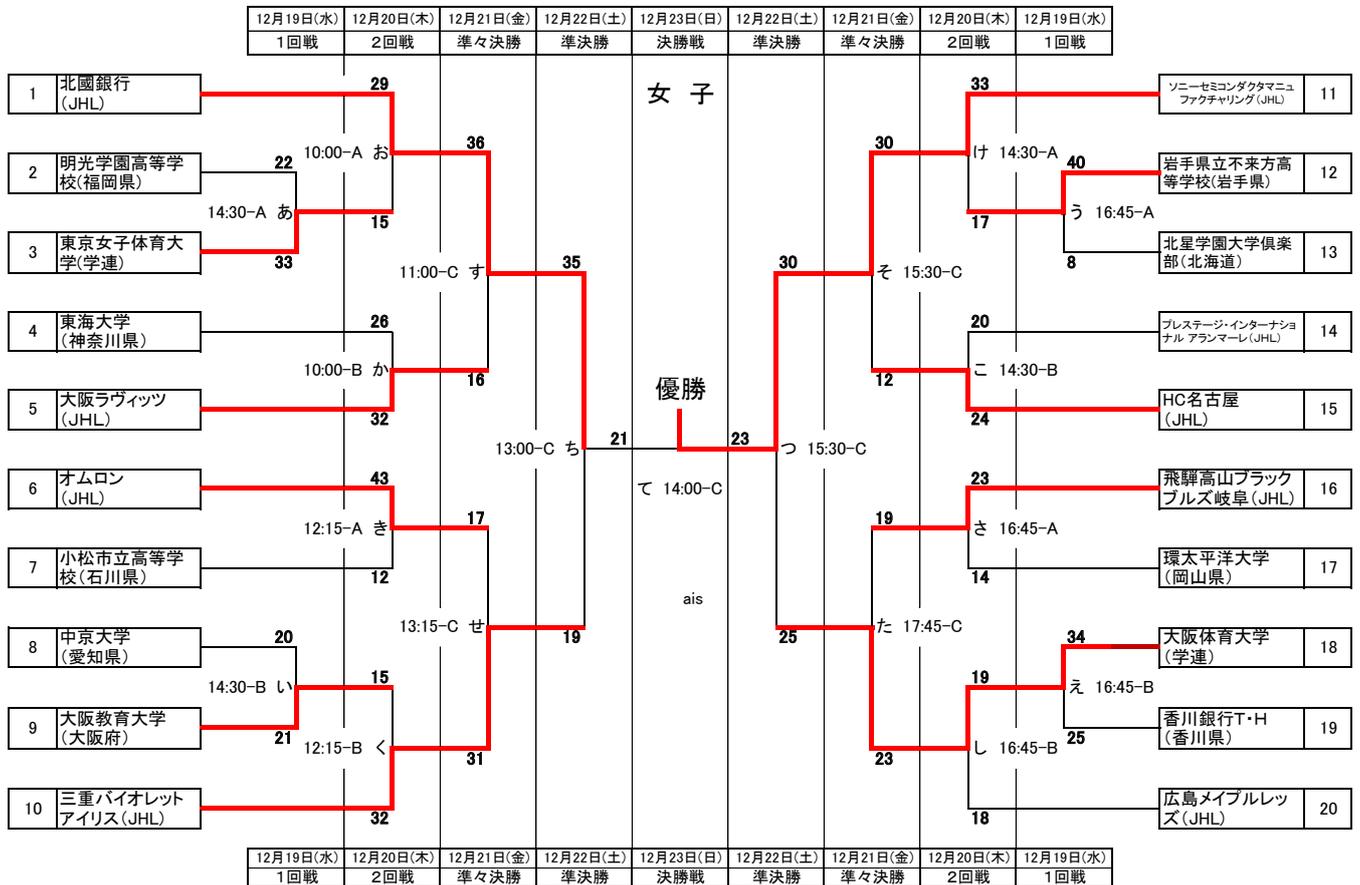


【最終順位】

- 優勝：ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング (JHL)
- 準優勝：北國銀行 (JHL)
- 3位：三重バイオレットアイリス (JHL)
- 大阪体育大学 (学連)

平成30年度 第70回日本ハンドボール選手権大会(女子の部)
 平成30年12月19日(水)～23日(日)

大阪府：丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)(A)・(B)、守口市民体育館(C)





女ハン大阪決戦

第70回日本ハンドボール選手権大会(女子の部)を終えて

大阪ハンドボール協会理事長 繁田 順子

はじめに、今大会を開催するにあたりご協力をいただきました特別後援の読売新聞社、オフィシャルパートナーのヤマト運輸(株)、協賛スポンサー各位、NHKの皆様にご心より御礼申し上げます。そして、連日会場へ足を運んでくださったファンの皆様。楽しんでいただけましたか。皆さんの声援は選手達のパワーの源です。今回もありがとうございました。

70年の歴史と伝統を誇る本大会は、唯一高等学校以上のカテゴリーが一堂に会し、その年の締め括りとして実施されてきた。本年度は、女子20チーム(日本リーグ9、学連2、ブロック9)が参加し2年連続大阪府(20118.12.19～23・大阪市・守口市)で開催された。中でも、3校の高校が予選を勝ち抜き本大会に出場し、ハツラツとしたプレーを見せてくれた。

代表者会議では、抽選方法のあり方、特にシード権決定について質疑があり、現行の日本リーグ勢だけに与えられているシード権を一考されたし、というものであった。日本協会の回答を待ちたい。

大会成績及び戦評については後記に示し、ここでは決勝戦について述べておきたい。

大会最終日。決勝は4回目の優勝を狙うリーグ王者北國と今大会勢に乗るソニーの一騎打ち。

開始早々、佐々木のロングシュートで先制点を決めた北國に対し、ソニーも角南で取り返す。立ち上がりから点の取り合いが続き10分過ぎで4対4。連続得点で競り合いから抜け出したい両チーム。19分17秒にソニーが川村、松村らの4連続得点で12対9と初めて3点差とした。しかし、ここから北國が王者の意地を見せる。ラスト3分。大山の2得点とベテラン八十島のサイドシュートで3連続を決め12対12で追いつき前半を折り返した。

後半に入り、ソニーは山野とキムで2点連取するが、北國も横嶋のカットインや河田・鵜場の3連続で16対15と逆転する。すかさずソニーがタイムアウトを請求。“辛抱しろ”と檄が飛ぶ。これにキムが応え16対16。その後も北國・鵜場や永田で加点すれば、ソニーも負けじと途中出場の谷や田村が反撃し一進一退の攻防が続く。20対19北國リード。北國・塩田とソニー安倍を中心とする共に堅い守りで得点チャンスを与えず緊張感は最高潮に。我慢が続く中、北國DFの一瞬のスキを突いた川村とキムの技ありの連打で22対21とソニーが逆転。28分07秒北國タイムアウトを請求。ラストチャンスにかけ果敢に攻めるが、ソニーのアグレッシブなDFとGK飛田の好守に阻まれ得点に至らず万事休す。29分55秒キムのとどめで23対21。ゴールインの笛と同時にゲームセットのブザーが鳴りソニーの優勝が決まった。連戦の疲れも見せず最高の試合を見せてくれた両チームに感謝したい。

最優秀監督賞には、ソニー大城章監督。終始ソニーのゴールを堅守し安定したキーピングを見せた飛田季実子がMVPを受賞。

また、個人賞には至らなかったがそれにふさわしい活躍をみせた選手をピックアップしてみると…。優勝したソニーの主将山野由美子は明るいキャラで個性派集団をまとめその手腕はあっぱれ！同じくソニーの川村杏奈は今大会絶好調。卓越したゲームコントロールと絶妙の間合いを武器にシュート良し、アシスト良し、相手DFを攪乱させた。女子ハンド界のサラブレッド横嶋彩(北國)は巧みなシュートテクニックで得点を量産。原希美(三重)もキャプテンシーで攻守に活躍。さらに学生界で外せないのが服部沙紀(大体大)。左腕から繰り出す豪腕シュートが炸裂しGK陣を翻弄した。いずれもその実力を大いに発揮しハンドボールの醍醐味を披露してくれた。次に、若手選手に目を向けてみたい。ある記者の独り言“ハンドボールは10代選手の強化が遅れているのでは…”確かに他競技では2020に向けて10代選手の活躍が連日マスコミを騒がせている。しかし、ハンドボールも黙ってはいない。昨夏の世界学生優勝の立役者、左腕エース中山佳穂や変幻自在にボールを操る巧者相澤菜月(共に大体大)。リーグ勢からは抜群の運動能力で頭角を現した平田ほのか(ラヴィ

ッツ)等も今大会でコートを走りまわり Road to 2020 東京へ着実に成長の姿を見せてくれた。

ここで、今大会での話題を二つあげておきたい。その一つは、何とんでも大体大の躍進である。他の追随を許さずインカレ6連覇の偉業を達成し、学連第一代表、地元大阪というプレッシャーをものともせず並み居る強豪を次々と撃破しての堂々の三位入賞は見事という他ない。大胆且つ繊細なベンチワークの名将楠本監督と完膚なきまでに鍛えぬかれたエリート集団の活躍は、リーグ勢に強い刺激を与えたのみならず日本女子ハンドボール界の前途に光明を見出したに違いない。その二。決勝戦では「#女ハン大阪決戦」を実践すべく審判をはじめJHA・TD・モッピー達も全て女性が担当した。特に今や世界大会でも活躍中の女性国際審判の太田智子・島尻真理子ペアは冷静な判断と的確な吹笛で、大会に華を添えてくれた。できれば、今秋熊本でもこの光景を見たいものだ。

最後に、平成最後の今大会は、ソニーの8年ぶり2度目の優勝で幕を閉じたが平成の30年間(1989～2018)の優勝チームと回数を挙げておこう。オムロン16回、メイプル7回、北國3回、ソニー2回、大崎電気2回となっている。特にオムロンは男女を通じて断トツの優勝回数で、名門という名にふさわしい功績は高く賞賛されるであろう。過去70回の歴史において色々なドラマが繰り広げられたが新元号においても躍進し続けるであろう女子ハンドボール界の今後益々の発展と興隆を祈念し報告とさせていただきます。ありがとうございました。

(誌面の都合上、文中敬称略・チーム名略式とさせていただきます。ご了承ください。ソニー=ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、北國=北國銀行、三重=三重バイオレットアイリス、大体大=大阪体育大学、メイプル=広島メイプルレッズ、ラヴィッツ=大阪ラヴィッツ)

~~~~~

そして、女ハンの夢は続く

日本の女子ハンドボールは、面白い。

日本の女子ハンドボールは、美しい。

日本の女子ハンドボールは、つよい。

さあ、日本中に伝えていこう。

さあ、世界中に見せていこう。

今回の舞台は、ここ大阪。

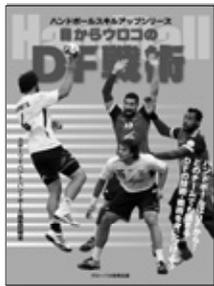
2025年に夢洲を予定地とした大阪万博が開催されることも決まり、さらに活気が増した街。

そんな大阪に、日本ハンドボールリーグのチームをはじめ、社会人や学生の強豪チームがたくさん集います。地元からは、大阪ラヴィッツ、大阪体育大学、大阪教育大学が出場。

この街で見た夢が、次なる大きな夢へとつづきますように。

この国の女子ハンドボールが、さらに大きな夢をつかみますように。

(大会プログラムより)



新刊

## ハンドボールスキルアップシリーズ 目からウロコのDF戦術

スポーツイベント・ハンドボール編集部 編著

B5判 144ページ 1,800円+税 発行元 グローバル教育出版

ハンドボールに欠かすことのできないDF。そのDFについて、1対1の守り方から始まり、チームとしての守り方まで、日本を代表する指導者が解説しています。また、DFシステムについても詳細に紹介。「DF」ならこの1冊にお任せください。

既刊



目からウロコの個人技術  
1,800円+税



## 優勝 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング

### ソニーセミコンダクタマニュファクチャリングハンドボール部監督 大城 章

第70回日本ハンドボール選手権大会において、8年振り2回目の優勝を果たすことが出来、とても嬉しく思っています。

今大会の優勝は、ここ数年、各種大会での優勝が遠ざかっていたチーム、また日頃から多大なる支援やサポート頂いてきた会社や鹿児島県にとっても、非常に価値のあるものでした。

私が監督に就任して3年間「自立・自律したチーム」を目指し、活動してきましたが、なかなか結果が出せず、悔しく苦しいものでした。また、今シーズンのリーグ前半戦においても、好不調の波が非常に大きく、涙をのんだ試合もありました。次に結果を出すために、勝つために、何が常にか常に考える日々でした。その中でリーグ戦中断期間の約一ヶ月は、チーム目標の再確認、チームまたは個人の課題の克服、基本プレーの徹底と特別なことは何一つ無く、ただやるべきことをチーム全員全力で行いました。具体的に今回結果が出た要因を考えてみると二つあります。一つ目は、これまでチームを引っ張ってきた選手たちと、若手選手や新加入選手との連携プレーに多くの時間を費やしたことで、チーム全体の底上げに繋がったこと、二つ目は、様々なチームに協力して頂き、試合形式の練習の中で沢山のトライ&エラーを繰り返しながら、キャプテン山野と攻守それぞれのリーダーを中心に、チーム全員が自分たちに向き合えたことが最高の結果に結びついたと考えています。今大会中においても、選手から私へのプレーについての積極的な提案も数多く見られ、我々の目指しているチーム像に少しずつ近づいているなど大変嬉しく思っています。今回の優勝を糧にし、ハンドボールが出来ることに感謝をし、この後のリーグ後半戦、そしてプレーオフに向け日々前進していきたいと思っています。

最後になりましたが、今大会にご尽力頂きました日本ハンドボール協会、大阪ハンドボール協会、地元高校生のならびに大会関係者の方々に深く御礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

## ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング主将 山野 由美子

12月19日～23日まで大阪府で第70回日本ハンドボール選手権が行われました。

初戦は、岩手県不来方高等学校との対戦でした。今大会までに自分たちが積み上げてきた事を確かめながらプレーし初戦を勝利する事が出来ました。

準々決勝は、HC名古屋との対戦。リーグ戦ではまだ対戦していませんでしたが、事前に相手を分析し、良い準備をして試合に入る事ができました。その結果、攻守にわたって終始足が動き、相手にペースを許すことなく勝利しました。ここ数年はベスト4を逃す事が多かったので、ベスト4入りできた嬉しさと、次への挑戦が楽しみになった瞬間でもありました。

準決勝の相手は、学生王者・今大会実業団2チームに勝利し、勢いのある大阪体育大学との対戦となりました。開始から、相手の持ち味である速攻やセットプレーで失点し、自分達のペースとなりませんでした。オフェンスでリズムが取れるようになり、チーム全体が落ち着きを取り戻しました。また、ディフェンスでも足が動き始め、連携が取れるようになり、最終的に30対25で勝利し、決勝の舞台に上がる事ができました。

決勝の相手は、絶対王者の北國銀行との対戦になりました。決勝の舞台の常連でもある北國銀行へは、挑戦と今大会に向けてやってきたこと、今大会で成長出来ている自分たちの力を100%信じて臨みました。先制点こそ許しましたが、ディフェンスが大崩れすることなく、失点してもコート内・ベンチでしっかりコミュニケーションをとり、終始アグレッシブなディフェンスができました。バックチェックの意識も高かったので相手の得意とする速攻を封じる事が出来たことも勝因だったと思います。

オフェンスでは、川村選手のゲームメイクからバランスよく得点し、リズムよくゲームを展開できました。前半の最後で同点に追いつかれ、後半途中にリードされ、それでも全員が「絶対勝つんだ！」という気持ちと集中力が相手よりも上回った結果の優勝だったと思います。

今大会は、やって来た事が少しずつ実を結んできた場面もありましたが、課題もたくさん見つかりました。この優勝を糧にし、一回りも二回りも成長できるよう日々精進してまいりますので、今後ともご支援、ご声援のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今大会にご尽力いただきました協会関係者の皆さまと、ご支援いただいた方々そして応援していただいた皆様に心より感謝申し上げます。

## 多彩なフィールドで、フロンティアを目指しています。

大同特殊鋼の素材は、暮らしや産業を支える多彩な製品や部品に使われています。  
私たちはこれからも、素材の力で新たな価値創造に貢献していきます。

**DAIDO STEEL GROUP**  
Beyond the Special



外からは見えませんが、骨のある会社です。

 大同特殊鋼

## 戦評

## ◆準決勝

## ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング 30 (16 - 13、14 - 12) 25 大阪体育大学

大体大は服部の7mスローで先制した。しかし、ソニー北原のロングで返され、以後好プレーの応酬で熱のこもったゲームとなった。ソニーは金の好プレーで連続得点を重ね、金がマークされ始めると、角南のポストプレーで加点した。大体大は中山のロングシュートを中心に、速攻、両サイドで追撃したが、前半は16対13、ソニーのリードで折り返した。

後半、立ち上がりリズムを握ったのはソニーであった。大体大は金をマンツーマンで守ったり、GKをあげての7人攻撃などで活路を見出そうとするが、逆に無人のゴールにシュートを決められるなど、点差は縮まらなかった。ソニーは要所で飛田のファインセーブが出て、30対25で勝利をつかんだ。

## ◆準決勝

## 北國銀行 35 (15 - 7、20 - 12) 19 三重バイオレットアイリス

開始早々北國銀行が得点すると、塩田のインターセプトからの得点、永田のシュートなどにより4連続得点。バイオレットも近藤の速攻で得点を返す。北國銀行は退場者を出しながらも佐々木の連続得点や寺田のナイスセーブからの速攻へとつなげ得点を重ね15対7北國銀行が8点リードを広げ前半を終える。

後半早々前半の北國銀行ペースのまま5連続得点により、リードを14点とする。その後もバイオレットが佐野、團、万谷の得点をしたものの得点は伸びず、北國銀行のペース変わらず後半20対12。前後半合わせ16点差を開けて北國銀行が決勝への駒を進めた。

## ◆決勝

## ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング 23 (12 - 12、11 - 9) 21 北國銀行

北國銀行佐々木のステップシュート、ソニー角南のポストシュートで試合が動き出した。以後、両チームともに連続得点がなく、20分で9対9の同点と一進一退の攻防が続いたが、20分からソニーが松村のサイドシュート、金の7mスロー、角南のポストシュートと3連続得点するも、25分から北國銀行大山のステップシュートとジャンプシュート、八十島のサイドシュートが決まり、12対12の同点で前半を終えた。

後半立ち上がり、ソニー山野のサイドシュート、金のカットインシュートが決まり2点リードするが北國銀行横嶋のカットイン、河田のカットインシュートで追いつく。両チームともに堅いディフェンスを破ることができず、連続得点を決められない。ラスト5分、21対21の同点でソニー金が本日8点目のカットインシュートを決め、最後にはサイドシュートを決めた。2点リードでソニーが優勝を掴んだ素晴らしい試合であった。



確かな“技術力”。  
これまでも、これからも。



# 100

株式会社ミカサは、2017年5月1日  
おかげさまで創業100周年を迎えました。

<http://www.mikasasports.co.jp>

これまで支えてくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

# 第27回 JOCジュニア オリンピック カップ

開催期間 2018年12月24日～12月27日  
開催地 埼玉県・さいたま市  
会場 サイデン化学アリーナ(さいたま市記念総合体育館)、  
さいたま市駒場体育館、さいたま市大宮体育館

写真提供：スポーツイベント社

## 最終 順位

### 【男子】

優勝：沖縄県選抜(7年ぶり7回目)  
準優勝：富山県選抜  
3位：愛知県選抜、埼玉県選抜

### 【女子】

優勝：愛知県選抜(5年ぶり2回目)  
準優勝：沖縄県選抜  
3位：鹿児島県選抜、山口県選抜

## 個人 表彰

### オリンピック有望選手

### 大会最優秀選手 有望選手

### 【男子】

伊禮 颯雅 (沖縄県・神森)  
松下 幸祐 (富山県・呉羽)  
嵩西 颯斗 (沖縄県・神森)  
清黒 瞳太 (埼玉県・三郷北)  
杉本 惇哉 (富山県・西條)  
親泊 寛粋 (沖縄県・神森)  
細野 聖太 (愛知県・藤岡南)  
白井 拓己 (北海道・本通)  
小山内 夢琉 (北海道・桔梗)  
鎌仲 大夢 (富山県・氷見北部)

### 【女子】

比嘉 楓 (沖縄県・美東)  
榎本 美佑 (愛知県・扇台)  
荒井 美咲 (埼玉県・三郷北)  
篠原 優和 (鹿児島県・霧島クラブ)  
高来 葵美 (石川県・芦城)  
紺谷 利紗 (石川県・芦城)  
田代 真生 (愛知県・滝ノ水)  
水谷 朱里 (愛知県・扇台)  
名嘉 陽菜 (沖縄県・美東)

## 大会を振り返り

大会事務局 総務部長 星野 真也

今年度より埼玉県で、第27回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会が、平成30年12月23日(日)～27日(木)の5日間、さいたま市のサイデン化学アリーナをメインに浦和駒場体育館と大宮体育館、3会場で開催されました。初の首都圏開催となり、全国25,818名の中学生ハンドボーラーの中から選抜された男女754名が埼玉県に集いました。本大会は、日本代表選手として活躍する可能性のあるジュニア選手の発掘と育成を行うことが第一の目的であります。

埼玉県のハンドボール競技人口は全国で6番目に多く、数十年もの間4,000名以上の競技人口を維持しております。実業団では、大崎電気が各大会で優勝、日本リーグプレーオフでは連覇するなど、ハンドボール王国を築き上げる最高峰となっております。高校では全国屈指の浦和学院高校や浦和実業高校、埼玉栄高校などが開催地であるさいたま市を中心に活動しています。小学生では三郷HCなどが中心となり、小中高が一体となって全国優勝も各カテゴリーで経験しています。過去のJOC大会では男女とも優勝こそ逃しておりますが、準優勝という高成績を成し遂げています。このようなハンドボールが盛んな地にて、日本のユース世代最高峰の大会が開催されることは誠に意義深く、感謝に堪えません。

本県中学生競技人口は全国で4番目に多く、昨年度まで数年間1,200名以上を維持していましたが、今年は1,200名を割ってしまいハンドボールの魅力を考え直すきっかけになっております。そのような状況の中、本県中体連前専門委員長の細津先生が2年前に埼玉県の未来を見越し、ハンドボールの魅力を埼玉県から全国へ広げ、中学生に関わる指導者の育成と団結を図ろうと考え、埼玉県にJOC大会を誘致しました。そして、力不足ながら専門委員長と大会総務部長の役職を私が譲り受け、若手指導者を中心に多くのことを学ぶ機会を与えて頂きました。細津先生には、中学生や県内指導者の未来を見据えて、JOC大会を埼玉の地に誘致して下さったことに心より感謝しております。

さて、本大会は7年ぶりとなる沖縄県選抜男子、5年ぶりとなる愛知県選抜女子の優勝で幕を閉じました。決勝トーナメントでは、どの試合も総力戦で、選手の皆さんの最高のパフォーマンスが発揮されておりました。本県は、県選抜男女と開催地女子が予選を勝ち抜きました。県選抜男子は準優勝した富山県選抜に惜しくも僅差で敗れましたが、3位入賞という結果を残すことができました。それは、間違いなく観ていた観客や県内の中学生に夢と感動を与えるものとなりました。大会総務部長として、これ以上に喜ばしいことはなく胸に熱いものがこみ上げてきたことを覚え、時間を費やして選手の心と体を育成して頂いた選抜スタッフに心より感謝しております。

最後になりましたが、埼玉県で開催するにあたり、多大なるお力添えをいただきました日本協会三輪常務理事をはじめ、尾石育成委員長や選考委員の方々、中体連競技部長齋藤先生を中心とした各ブロック長の方々、各チーム関係者の皆様、戸塚大会審判長や審判員の皆様、本県協会の清水会長、上久保副会長、中野副会長、井川理事長などの方々に、改めて厚く御礼を申し上げます。また、日本協会湧永会長や福地副会長には開閉会式等にご列席して頂き誠に感謝しております。前年度まで沖縄大会事務局を務めていた新垣総務部長にも、大会の引き継ぎや反省点など多くのアドバイスを頂き、埼玉大会での利点を生かすことができました。地元役員や県内の中学生ハンドボーラーにとりましても、全国のハンドボールを間近で体感することができ、競技力向上や普及につなげることができました。今後は、本大会の運営で得た反省を来年度の大会に生かせるよう、チームだけではなく運営面でも日本一を目指していきたいと考えております。次年度は、さらに選手の皆さんが実力を発揮し、埼玉に来てよかったと思える大会となるよう改善することを誓い、大会報告と致します。皆さまのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



## 男子優勝 沖縄県選抜



写真提供：スポーツイベント社

### 沖縄県選抜男子監督 友利 彬彦

はじめに、第27回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会において優勝することができ、大変嬉しく思っております。また、神森中においては春・夏の全国大会に続き、3冠の達成となりました。これもひとえに、ご支援、ご協力いただいた学校関係者の方々、保護者の方々、沖縄県、そして浦添市の先生方のおかげであると深く感謝しております。また、大会開催にあたり、大会準備、運営にご尽力いただきました埼玉県ハンドボール協会の皆様、関係機関、関係各位の皆様方に心よりお礼申し上げます。

今年の選抜の目標は「全国制覇!!!」。県大会から選考会を何度か開催し、集まった16名。今年は神森中が春・夏の全国大会を制し、他の中学校の選手も強い思いでJOCに挑む反面、選手達はこの4ヶ月間、計り知れないほどのプレッシャーを抱えて取り組んでいたと思います。

九州大会で、キャプテンの伊禮颯雅がいない中、チームが一つになり「絶対に勝つ!」という気持ちを全面に出し、全員プレーで優勝したことで選手達自身が自信に繋がった大会だったと感じています。それから、全国大会に向けて厳しい練習に取り組み、良い状態で大会に入れたと思います。

予選リーグの山形県選抜・さいたま選抜との試合では勝利することはできたものの、ミスが目立つ内容で、思い通りの展開ではありませんでした。決勝トーナメントに入り、北海道選抜との試合は歯車が噛み合わず苦戦し、やはりJOCでは簡単に勝たせてもらえないと実感しました。準決勝の愛知県選抜の試合も、前半苦しめられましたが後半なんとか立て直すことが出来ました。

そして決勝戦では、春中でも全中でも戦った富山県選抜。終始劣勢で、リードされて前半を折り返す非常に苦しい展開となりました。それでも「日本一になる!!!」という強い気持ちを持った選手達は堂々とコートに立ち、DFでは「我慢!我慢!」とお互いに声を掛け合い、OFでは「自分達がやってきたことをしっかりやろう!そうすれば絶対に勝てる!」と鼓舞する姿がありました。延長に入ってから選手達の集中は切れることなく、チーム一団となって戦い「優勝」という最高の形で大会を終えることが出来ました。

決して強い選手達ではありません。弱い部分もたくさん持っている普通の中中学生です。彼らのどこにそんな強さがあるのか。それは日本一になるために妥協せず努力し、どんなことでも自主的に行い、コミュニケーション能力があったからだと思います。今大会を通して、勢いだけでなく、苦しくても負けない本当に強いチームになったと感動しています。

最後に、今大会に至るまで、多大なるご支援を頂きました沖縄県ハンドボール協会の皆様、小・中・高校関係者の皆様、神森中学校の先生方に感謝申し上げます。また、保護者の皆様におかれましては、惜しみないサポート、温かいご声援を頂きました。この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

## 沖縄県選抜男子主将 伊禮 颯雅

「JOC 日本一」「三冠沖縄初」。これが沖縄県選抜メンバーの平成最後の目標でした。

しかし、三冠までの道のりは、簡単ではありませんでした。JOC は選抜チームなので、個々のプレーの意見が合わず、練習中に何度も練習を中断し、話し合うことがたくさんありました。監督・コーチより、「このままでは日本一に絶対になれない」と、強く指摘されることもあり、JOC 全国大会に向けて自分達は「挑戦者」だという気持ちを忘れずに戦うことを決めました。

また、三冠（沖縄県初）というプレッシャーと緊張感は言葉では言えないぐらいチーム内にありました。

JOC 全国大会に向けたモットーは「守って速攻」をスタイルに、沖縄県内の強豪高校と練習試合を繰り返し、ディフェンス強化、オフェンスでは7人攻撃を確実に得点する、数的有利のオフェンス判断練習を何度も行いました。

自信を持って挑んだ全国大会。リーグ戦から準決勝まで、強豪選抜チームと対戦しましたが、何とか勝利することができました。決勝の富山県選抜では、前半9対11と2点差負け。後半で同点に追いつき、第一延長の末、何とか1点差で勝ち、優勝することができました。何より、勝ち越すことができたのは、どんな苦しい場面で相手にリードされていても、沖縄県選抜チーム16人が目標である「JOC 日本一」と諦めなかったからだと思います。最高の仲間に出会えたことに、本当に感謝しています。

最後に、僕たちに大好きなハンドボールを初めて教えてくれた小学校の監督・コーチ、春中・全中・JOC に向けてたくさん指導して下さった、中学校の顧問・先生方・外部コーチ、強くなるために練習相手として胸を貸して下さった高校の先輩・先生方。そして、保護者の支えがあつての優勝です。

本当に感謝しています。ありがとうございました。今大会で学んだことを生かして、最高の仲間と共に、次のステージでも頑張ります。



写真提供：スポーツイベント社

## 愛知県選抜女子監督 中谷 秀将

この度は、第27回JOCジュニアオリンピックカップにおいて優勝することができ、大変嬉しく思います。埼玉県に移転しての首都圏初開催の大会でしたが、星野総務委員長をはじめ、運営に携わる関係者の皆様のご尽力により、何年も訪れていると錯覚するほどの素晴らしい大会でした。今大会に参加できましたことに心から感謝申し上げます。

近年における愛知県男子の輝かしい実績（直近4年で3回優勝）の陰で、女子チームは、第22回大会（2013年）優勝以来、4年連続ベスト8止まり。「何とかその壁を突破し『日本一』に到達する！」と決意してのスタートでした。県内8



チームから集結したメンバーは大型選手が多く、まさに選抜チームらしい雰囲気を感じていました。その一方でひとつにまとめることが大きな課題となりました。怪我や病気でメンバーが離脱するアクシデントも起きました。しかし、日頃の練習から選手同士がよく会話をし、懸命にトレーニングを重ねて、自立したチームに進化してくれました。

対戦した相手は、素晴らしいチームばかりで困難な試合の連続でした。予選の大分県選抜は、昨年度3冠達成、JOC 3年連続優勝を狙うチーム。決勝トーナメント一回戦の石川県選抜は、全中準優勝の芦城中主体。準決勝の鹿児島県選抜は、春中3位、クラブチームカップ優勝の霧島クラブ主体。どの選手も勝利の味を知り、最後まで絶対に諦めないひた向きの戦士でした。決勝前夜、「我々は失うものが無いチャレンジャー。戦った相手ももっていた『必死さ』を譲り受けて全力を尽くそう」と話しました。そして、決勝の沖縄県選抜は、春中優勝、全中3位的美東中主体。最高の強豪チームでした。全国経験のない選手も多い愛知県選抜にとっては、どのチームも胸を借りる雲の上の存在。そんな数々の強豪を相手に、次々とメンバーを交代しながら5試合を戦い抜くことができたのは、選手たちの努力の結晶です。優勝決定のホイッスルは、愛知県全体の力が結実した瞬間でした。

『日本一』という目標達成のために、ご協力いただいた各中学校の顧問の先生、市邨高校・名城大学をはじめとする愛知県内の高校・大学の指導者やOB・OG、ご支援いただいた愛知県協会や協賛企業の方々、そして何より、受験勉強との両立を支え、送迎など全面的にサポートいただき『日本一』の声援を観客席から届けてくださった保護者の皆様。すべての方々に深く感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

## 愛知県選抜主将 水谷 朱里

愛知選抜16人が集まった時、私は『壁』という印象を受けました。170cm台の選手が5人、その他にも160cm後半の選手が何人もいる大型チームということで高さが武器になるチームだと、とてもワクワクしました。最初の練習では、個々の力が強い…つまり、選手層が厚いことが分かり、更に期待は高まりました。自分達が掲げた「ベスト4に入る」という目標に向けて頑張っていましたが、オン・オフの切り替えが出来ず、限られた時間の中で自分に何が出来るのかと悩んだこともありました。しかし、様々な出来事をきっかけにチームの雰囲気が変わっていきました。

また、自分もキャプテンとしてチームをまとめあげたいと決心することができました。

4ヶ月間の練習のほとんどは、市邨高校でお世話になりました。先輩方のアグレッシブなプレーを間近で体験することができ、とても刺激を受けました。また、大会直前にはインターハイ優勝チームである佼成学園女子と練習をさせていただきました。チャンピオンの精神を垣間見ることができ、チームの意識・輪が一層高まり、強い気持ちで本戦に臨むことができました。

予選リーグの初戦は特に緊張しましたが、これまでやってきたことを思い出して冷静にプレーすることができ、順調に勝ち進むことができました。決勝トーナメントでは、苦しい場面も多くありましたが、仲間同士が声を掛け合い、支え合いながら戦えたことが最大の勝因であったと思います。

「優勝」という頂に到達できたことを誇りに思い、これからの競技生活に生かしていきたいと思います。これまで指導してくださった先生方、練習の相手をしてくださった高校生のみなさん、声が枯れるまで声援をくださった保護者の方、大会関係者の方々、そして最後まで全力で戦い抜いたチームメイトのみんなに感謝しています。本当にありがとうございました。

**戦評:男子準決勝 沖縄県選抜 25(12-11、13-6)17 愛知県選抜**

沖縄県のスローオフで試合開始。お互いのディフェンスの足がよく動き、無得点の状態が続く。愛知県は万澤のポストシュートで先制するが、すぐさま沖縄県は伊禮のステップシュートで取り返す。その後は、愛知県の堅いディフェンスからの速攻、沖縄県のリスタートやポストシュートなどで応戦し、一進一退の攻防が続く。愛知県朝倉のサイドシュートで得点を重ねるものの、沖縄県はプレスディフェンスから相手のミスを誘い、速攻の展開に持ち込む。沖縄県は試合を優勢に進め、12対11で前半を折り返す。

後半に入ると、沖縄県は安里のロングシュートや速攻などで5連続得点し、勢いは止まらない。愛知県もシュートチャンスを作るが、沖縄県嵩西の好セーブにより、得点にならず、点差が開いてしまう。愛知県細野のロングシュートやカットイン、大澤の好セーブで粘りを見せるものの、沖縄県のプレスディフェンスを崩すことが終始できなかった。高い得点力と堅い守りが目立った沖縄県が25対17で勝利した。

**戦評:男子準決勝 富山県選抜 35(19-12、16-15)27 埼玉県選抜**

試合開始まもなく、埼玉県井上のステップシュート、富山県鎌仲のステップシュートで試合の火ぶたが切られる。その後はお互いにシュートが決まり、埼玉県がリードする形で試合が進んでいく。富山県松下のナイスセーブ、鎌仲の3連続得点で前半9分には富山県がリードを奪う。前半15分に9対5と4点差をつける展開になり、埼玉県がタイムアウトをとる。その後も富山県加納、杉本を中心に多彩なシュートが決まり、18対10とリードが広がる。前半23分に埼玉県が2回目のタイムアウトをとって流れを切り、19対12で前半を折り返す。

後半開始後、埼玉県加藤のナイスセーブと、3連続得点で意地を見せる。埼玉県も地元開催で大声援を味方に清黒を中心に攻め続けるが、富山県の能力を生かした攻撃を止められず、7点差の壁が立ち足はだかる。埼玉県も健闘するが、35対27で富山県選抜が勝利し、決勝戦に駒を進めた。

**戦評:男子決勝 沖縄県選抜 28(9-11、14-12、3-1、2-3)27 富山県選抜**

沖縄県は7年ぶり、富山県は25年ぶりの優勝をかけての決勝戦は、沖縄県のスローオフで試合開始。沖縄県伊禮の先制点で試合が動く。沖縄県は多彩な攻撃でゴールを狙うが、富山県は鎌仲を中心に3点連続得点し、富山県がリードする展開になる。その後は互いにレベルの高い攻撃でシュートを打つが、沖縄県嵩西、富山県松下の両GKの好セーブが目立ち、一進一退の状態が続く。前半18分、富山県が杉本のポストプレーを起点に9対6と3点差をつけリードする。すかさず沖縄県も金城の素早いカットインから得点に結びつけ、11対9で富山県がリードのまま前半を折り返す。

後半開始後、沖縄県は3点差のビハインドをものともせず、後半16分、ついに沖縄県の連続得点で20対18と逆転に成功する。富山県もタイムアウトをとり、鎌仲を中心に意地を見せ、後半24分、23対23の同点。後半24分09秒に沖縄県はタイムアウトをとる。沖縄県の猛攻は得点に実らず、同点のまま、後半24分46秒に富山県がタイムアウトをとる。残り1秒、富山県はサイドシュートを打つが、沖縄県嵩西が防ぎ、延長戦に突入。

延長前半開始後、沖縄県照屋のカットイン、伊禮のロングシュート、親泊のポストシュートが得点になり、26対24で沖縄県がリードし、延長前半終了。後半延長開始後、すぐに富山県鎌仲、鎌仲のシュートで1点差に迫るが、惜しくも届かず、沖縄県が7年ぶり7度目の優勝を果たした。

**戦評:女子準決勝 沖縄県選抜 17(10-7、7-8)15 山口県選抜**

山口県のスローオフで試合が始まり、沖縄県西田がポストシュートで先制する。対する山口県も福田のフェイントからのシュートですぐさま同点。序盤は両キーパーの好セーブにより、前半8分まで1点差の展開となる。前半11分、速攻などで沖縄県が3連取し、6対2となったところで山口県がタイムアウト。山口県も粘りのディフェンスから速攻でノーマークを作るが、沖縄県GK比嘉の好セーブに阻まれる。一時、沖縄が5点リードしたが、前半終了間際、山口県が2連取し、10対7沖縄県リードで前半を終了した。

後半5分、沖縄県の退場時に点差をつめたい山口県だが、無得点。後半10分すぎ、山口県は福田の速攻、フォーメー

ションプレーで得点し、2点差とする。ここで沖縄県がタイムアウト。タイムアウト後、4分間両チーム無得点。後半16分、沖縄県金城が2連取し、15対11となったところで山口県タイムアウト。後半20分すぎ、沖縄県から立て続けに退場者が出る。山口県が7mスローを決め、点差を縮めるが、山口県にも退場者が出て、点差を詰めることができず、このままタイムアップ。17対15で沖縄が決勝へ駒を進めた。

### 戦評:女子準決勝 愛知県選抜 16(9-6、7-8)14 鹿児島県選抜

愛知県が先制するかと思えば、坂本の連続セーブが起爆剤となり、鹿児島県が速攻などで2連取する。愛知県もエンジンがかかり、水谷のカットインで2対2に追いつく。鹿児島県はその後、愛知県の堅い守りを崩せない。しかし、愛知県が引き離すかと思えば、鹿児島県坂本が好セーブを連発する。前半19分、鹿児島県が愛知県にダブルマンツォを仕掛け、流れを変えて追いつこうとするが、愛知県の守りを崩すに至らず、9対6、愛知県リードで前半を終える。

後半、お互いのディフェンスの足が動き、ロースコアの展開となる。両チーム、ポストを生かした攻撃を仕掛けるも、ディフェンスのマークチェンジが機能し、中央の守りの堅さが光る。鹿児島県はディフェンスの手を緩めず、愛知県水谷へのマンツォマンを継続。その間に鹿児島県は、じわじわと迫り、後半15分12対11と1点差まで追いつく。両バックプレーへのプレッシャーをかけるディフェンスで愛知県の得点を許さない。後半19分、鹿児島県は同点に追いつくも、後半22分に鹿児島県が、2分間退場。愛知県が7mスローを決め、16対13となる。鹿児島県がカットインシュートを決め、16対14で試合終了。両チームの好ディフェンスが際立つゲームだった。

### 戦評:女子決勝 愛知県選抜 14(5-4、9-6)10 沖縄県選抜

昨年の悔しさを晴らしたい沖縄県と5年ぶりに優勝を狙う愛知県が今年の決勝カードとなった。沖縄県は多彩な攻撃で、愛知県は水谷を中心とした攻撃で攻める。しかし、両チームGKの好セーブが光り、なかなか得点が入らない展開で試合がスタートする。ゲームが動いたのは、前半6分。沖縄県砂川がサイドシュートを決めると、すかさず愛知県杉村が1点を返す。その後、愛知県のエース水谷が7mスローを冷静に決め、2対2。前半18分、愛知県のタイムアウト後、沖縄県は水谷にマンツォマンDFをしかけるが、大矢のカットインで愛知県が1点リードする展開に。愛知県がリードを保ち5対4で前半を折り返す。

後半開始早々、愛知県が2連続得点で点差を一気に3点に広げる。追加点がほしい愛知県だが、沖縄県GK比嘉の好セーブに阻まれる。点差をつめたい沖縄県。後半8分、得意の回り込みプレーで名嘉がやっと1点を返し、スカイプレーでも追加点。その後、愛知県水谷のロングシュートで10対6。たまたま沖縄県がタイムアウトを申請。沖縄県比嘉のナイススローでワンマン速攻を決め、流れがほしい沖縄県だが、愛知県の堅いDFを前に苦しい展開が続く。4点のリードを保ったまま、14対10で愛知県が5年ぶりの優勝を勝ち取った。両チームのGKの好セーブと、愛知県の堅いDFが際立つ決勝戦だった。

 OSAKI



**mind**

豊かな明日を切り開く、大崎マインド。

限られた資源だから、有意義に使っていききたい。

命あるものたちが共存する地球だから、

快適な環境を守っていききたい。

計測・制御の専門メーカーとして時代をリードする大崎は、

ユニークな発想と探究心で省エネ、省力化機器など、

つねに技術革新をこころがけています。

大崎電気工業株式会社

本社 〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア TEL.(03)3443-7171(代表)



文部科学大臣杯

# 第16回日本車椅子ハンドボール競技大会

「すわろーず」が2連覇を果たす



一般社団法人日本車椅子ハンドボール連盟 沖 史也

文部科学大臣杯第16回日本車椅子ハンドボール競技大会が、2018年11月10日・11日に徳島県鳴門市で行われた。ここは、これまで3回も開催した場所で3年ぶりの開催であり、参加チームは14チーム、しかもファミリー(ジュニア)の部も復活した。

試合は、昨年優勝した「すわろーず」が2連覇を果たすか、それとも「チーム宮城」がリベンジし14回目の優勝に返り咲くか、あるいは、「大阪体育大学 APES - A」か「ドリーマーズ」が代って優勝するか、どこが優勝してもおかしくない白熱した試合が行われた。結局、「すわろーず」が昨年に続き2連覇を果たし、2位は「チーム宮城」、3位は「大阪体育大学 APES - A」、4位は「ドリーマーズ」となった。

決勝戦は「チーム宮城」のスローオフで始まり、まず、「すわろーず」の堅い守りを「チーム宮城」の小林が破り強烈なシュートで先制する。しかし、「すわろーず」は早いパス回しからスペースを作り、刈谷や大久保などが確実にシュートを決め得点を重ねていく。さすが長年王者を続けていた「チーム宮城」はキーパーの勝俣も攻撃に加わるなど多彩な攻撃を仕掛けていき、お互いに点を重ねていくが、キーパーの山本を中心とする「すわろーず」の守りは固く、「すわろーず」は8点、「チーム宮城」6点と2点差で前半を終えた。

後半は、「すわろーず」のペースで刈谷がセットプレーからのシュートなどで点を重ねていった。一方の「チーム宮城」も差波などがシュートして反撃していく。しかし、キーパーの山本のファインセーブや「チーム宮城」のシュートミスにより点を取ることが出来ないことがあり、16対12で「すわろーず」が優勝した。

準決勝の「大阪体育大学 APES - A」対「チーム宮城」の試合は、「大阪体育大学 APES - A」の坂東、赤松などが得点、一方「チーム宮城」は差波、向川、小林などが得点、お互いにシュートを決め一進一退の戦いで前半はは6点、



優勝 すわろーず



準優勝 チーム宮城



3位 大阪体育大学 APES - A

「チーム宮城」は7点で前半を終わり、後半も一進一退の戦いとなり終了間際で「チーム宮城」の小林のシュートで14対14の同点となり延長戦になった。延長戦も同様な戦いでどちらが勝ってもおかしくない試合でしたが、19対20で「チーム宮城」が1点差で勝った。

もう一方の準決勝は、「すわるーず」と「ドリーマーズ」が行い、前半は「すわるーず」の刈谷や大久保が多数のシュートをし、10点を取り、一方「ドリーマーズ」は真下や山本の他に樋口、中田、篠原が得点し9点を稼ぎその差1点であった。後半には、「すわるーず」は刈谷の他に女性の福田が活躍し9点を稼ぎ、一方「ドリーマーズ」は前半と同じく真下、山本、樋口、篠原がシュートし7点を取り、結局19対16で「すわるーず」が勝った。

フレンドリーの部は、徳島県の「THC.Jr. すだち A」と「THC.Jr. すだち B」および和歌山県の「岩出 HB 男子」、「岩出 HB 女子」の出場で行われた。2年間の間をおいての試合であったので、どれくらい進歩しているか楽しみである。予選は、和歌山県と徳島県の間で行われた。和歌山県のチームは2年も空くとメンバーも大幅に変わったのか進歩があまり見られなかったが、徳島県のチームは2チームは確実に進歩し、決勝に進んだ。決勝は「THC.Jr. すだち A」と「THC.Jr. すだち B」が対戦し、「THC.Jr. すだち A」は濱、榎並、野田がシュートし、前半5点、後半5点取り、一方「THC.Jr. すだち B」は、能田、松田、桜間がシュートし、前半3点、後半4点を取り、結局10対7で「THC.Jr. すだち A」が優勝した。

毎年、各大学からの調査がありますが、今年は筑波大学からアンケート調査がありました。また、九州からは視察があり、2、3年後には九州地区で大会を開催する話が持ち上がりました。連盟にとっては願ってもないことで、長いこと願っていた九州地区で開催することが出来そうです。連盟では、全国に普及するよう願って活動しているのですがなかなか普及していきません。皆様のご協力よろしくお願いたします。また、皆様の大会への参加を待っています。



すわるーず 刈谷



チーム宮城 小林



大阪体育大学 APES - A 赤松

あなたの元気を未来につなぐ  
**Wakunaga**

**元気、やる気、  
笑顔、湧く。**



キョーレオピン  
KYOLEOPIN  
LIQUID

《販売名》  
キョーレオピンw

**滋養強壯  
虚弱体質**

第3類医薬品



レオピン  
ファイブw

《販売名》  
レオピンファイブw





**湧永製薬株式会社**  
http://www.wakunaga.co.jp/

お取扱店のお問い合わせ **0120-39-0971**  
(通話料無料) 受付時間 9:00~12:00・13:00~17:00 (土日祝日を除く)



フィッティングを追及した軽量スピードモデル

# GEL-FASTBALL 3

THH546 / 本体価格 ¥11,800+税



5001 インシグニアブルー x ホワイト



001 BLACK/SHOCKING ORANGE

7月中旬発売予定

 アシックスシューズのストライプデザインはアシックスの商標であり、世界の多くの国で登録された商標です。

本体価格は消費税抜きのメーカー希望小売価格です。 ■商品についてのお問い合わせ先：アシックスジャパン株式会社お客様相談室 0120-068-806  
■当社ホームページ [asics.com](https://asics.com) からもお問い合わせをいただけます。



Tokyo 2020 Gold Partner  
(Sporting Goods)

# 「コーチ・レフェリーシンポジウム2018 in熊本」 開催の報告

指導委員会 講習会企画専門委員長 船木 浩斗

## 1. はじめに

2018年12月8日(土)から9日(日)にかけて、熊本県立総合体育館においてコーチ・レフェリーシンポジウム2018in熊本を開催しました。開催案内を日本協会ホームページに掲載したのがシンポジウムの約1ヶ月前であったのにも関わらず、40名もの方々に参加していただきました。さらに、このシンポジウムは関東地区で開催することが多いのですが、今回は熊本県での開催ということもあり、九州の多くの指導者や審判員の方々に参加していただけたことは、主催する側として大変嬉しいことでした。

今回は「東京オリンピックの先を見据えたアンダーカテゴリーの強化」をテーマとして、1日目は、東京オリンピック以降の日本ハンドボール界を背負って立つ世代の選手たちの、現状と今後の課題についての報告とパネルディスカッションを行いました。2日目は審判委員長の福島亮一氏による講演と、指導委員会・審判委員会合同によるパネルディスカッションを行いました。

またこのシンポジウムは、日本スポーツ協会公認指導者資格更新の義務研修を兼ねて開催しました。

## 2. 男子アンダーカテゴリーにおける大会報告と今後の強化に関する課題

1日目のプログラムは「男子アンダーカテゴリーにおける大会報告と今後の強化に関する課題」から始まりました。まず、佐藤壮一郎アンダーカテゴリー強化部会長が、これまでのアンダーカテゴリー日本代表の取組みと今後の目標について説明されました。その後、第16回ジュニアアジア選手権(準優勝、吉村晃 U-21 監督)、第8回ユースアジア選手権(準優勝、吉田耕平 U-19 コーチ)、第24回世界学生選手権(3位、豊田賢治 U-24 コーチ)それぞれのテクニカルレポート、そしてパネルディスカッション(コーディネーター:下川真良指導委員会委員)と進みました。

それぞれのカテゴリーの監督やコーチから、①大会に向けた事前準備(選手選考、採用した攻撃戦術と防御戦術、体づくりなど)、②大会を通じた攻撃と防御の評価、③個の育成の重要性などが報告されました。とりわけ③個の育成の重要性について、ゴールキーパーではクロスシュートに対するセーブ率向上、コートプレーヤーでは大型ポストプレーヤーのスクリーンへの対処や0~1歩でのディスタンスシュートへの対応力向上(ディフェンス)、セットオフenseにおける2対2を攻める力の向上(オフense)が課題であることなどが報告されました。

## 3. 女子アンダーカテゴリーにおける大会報告と今後の強化に関する課題

このプログラムでは、まず、齊藤慎太郎アンダーカテゴリー強化副部会長が今年度のアンダーカテゴリー日本代表における取組みの概要について説明されました。その後、第7回ユース世界選手権(14位、楠本繁生アンダーカテゴリー協会部会長)、第21回ジュニア世界選手権(14位、新井翔太 U-20 コーチ)、第24回世界学生選手権(優勝、楠本繁生 U-24 監督)それぞれのテクニカルレポート、そしてパネルディスカッション(コーディネーター:仲田好邦 NTS 運営専門委員

「東京オリンピックの先を見据えたアンダーカテゴリーの強化」

### 12月8日(土)

「男子アンダーカテゴリーにおける大会報告と今後の強化に関する課題」

- ①これまでのアンダーカテゴリー日本代表の取組みについて  
佐藤 壮一郎 (男子アンダーカテゴリー強化部会長)
- ②第16回ジュニアアジア選手権テクニカルレポート  
吉村 晃 (男子日本代表 U-21 チーム監督)
- ③第8回ユースアジア選手権テクニカルレポート  
吉田 耕平 (男子日本代表 U-19 チームコーチ)
- ④第24回世界学生選手権テクニカルレポート  
豊田 賢治 (男子日本代表 U-24 チームコーチ)
- ⑤パネルディスカッション  
コーディネーター 下川 真良 (指導委員会)

「女子アンダーカテゴリーにおける大会報告と今後の強化に関する課題」

- ①今年度のアンダーカテゴリー日本代表における取組みの概要について  
齊藤 慎太郎  
(女子アンダーカテゴリー強化副部会長、U-24 チームコーチ)
- ②第7回ユース世界選手権テクニカルレポート  
楠本 繁生 (女子アンダーカテゴリー強化部会長)
- ③第21回ジュニア世界選手権テクニカルレポート  
新井 翔太 (女子日本代表 U-20 チームコーチ)
- ④第24回世界学生選手権テクニカルレポート  
楠本 繁生 (女子日本代表 U-24 チーム監督)
- ⑤パネルディスカッション  
コーディネーター 仲田 好邦 (NTS 委員会)

### 12月9日(日)

「レフェリーの心得」

福島 亮一 (審判委員長、国際審判員)

「パネルディスカッション」

～日本におけるモダンハンドボールの上半期の評価と課題～

本田 昭太 (国際審判員)  
麻生 薫 (指導内容策定委員会)  
佐藤 壮一郎 (男子アンダーカテゴリー強化部会長)  
コーディネーター 船木 浩斗 (指導委員会)



長)へと進みました。

女子アンダーカテゴリーの取組みとして特徴的であったのが、カテゴリー間の連携でした。U-24 は日本代表との合同トレーニングを行ったり、U-18・U-20・U-24 は合同合宿を行ったりする中でそれぞれのコーチがお互いの支援コーチとして合宿に参加したことで、より効果的な強化を進められたということでした。また、韓国に勝つチームを作るには、失点を20点前半に抑えるディフェンス力をつけること、選手それぞれのシュート成功率を向上させていくことが重要であり、とりわけユース・ジュニア年代の選手たちのサイドシュート成功率の向上がポイントであることが報告されました。

#### 4. レフェリーの心得

2日目は審判委員長の福島亮一氏の講演「レフェリーの心得」から始まりました。講演の中で福島氏は、次世代のハンドボールを担う選手たちのためにレフェリーが心がけるべきこと10箇条を提示されました。そこでは、レフェリーが持っているルールに関する知識はリーダーシップと誠実さがあって初めて生きてくること、素晴らしい笛（タイミング、判定基準）にはゲームのスピードについていける身体上の適性が必要であること、ゲーム中に起こるいろいろなことに「ペア」で協力して対応すること、さらにチーム・競技役員・補助役員との連携を大事にする姿勢を持つことなどが説明されました。レフェリーの役割、立場を再認識する良い機会となりました。

#### 5. パネルディスカッション

今回のシンポジウムにおける最後のプログラムは、パネルディスカッション「日本におけるモダンハンドボールの上半期の評価と課題」でした。まず、国際審判員の本田昭太氏と指導内容策定委員長の麻生薫氏それぞれによる講演、そして男子アンダーカテゴリー強化部会長の佐藤壮一郎氏を交えてディスカッション（コーディネーター：船木浩斗指導委員会委員）を行いました。

本田氏の講演では、IHFの謳うモダンハンドボールの考え方を、国内のレフェリーがどの程度理解しゲーム中に判定を行っているか、また罰則の適用などについての判定基準の統一を全国的に進めていくことなどが報告されました。麻生氏の講演では、育成の課題としてU-13やU-16の選手たちのボディコンタクトを伴った1対1を守る力の未熟さがあげられ、それらに対するNTSの取組み（育成プログラムに沿った段階的なアプローチ）が紹介されました。

その後のパネルディスカッションでは、審判・指導・強化の3部門が連携を取りながらモダンハンドボールに適應し、選手たちの競技力向上を進めていくことが重要である旨の話が展開されました。パネリストだけでなく参加者からの意見も多くあり、活発な意見交換の場となりました。

#### 6. おわりに

2日間のシンポジウムでは、登壇者、参加者それぞれから日本ハンドボールの未来をさらに輝かせるための率直な意見がたくさん述べられました。男子3カテゴリーにおける大会での上位進出、女子の世界学生選手権優勝にみられるような「今年度の成功体験」を、国内のコーチとレフェリーが「日本ハンドボール界の財産」として捉え、日本の進むべき方向を明らかにすること。そして、お互いに協力しながら目の前にある課題を1つずつ解決していくことが、東京オリンピック以降の強化のために重要であると感じました。

おわりに、コーチ・レフェリーシンポジウム2018in熊本の開催にご協力、ご尽力いただきました関係各位に心から感謝申し上げます。

なお、このコーチ・レフェリーシンポジウムの内容は、指導・育成・普及委員会のホームページ内にあります指導委員会公式YouTubeチャンネルにてご覧になることができます。

URL：<https://www.youtube.com/channel/UC4Tek6ICMSaxbSqmilSCnCQ>



# 「2019女子ハンドボール世界選手権大会を大成功させる会」が設立されました！

今年の11月30日から12月15日にかけて熊本県で開催される2019女子ハンドボール世界選手権大会は、2年に一度開催される、女子ハンドボールの世界一決定戦です。

日本国内で開催されるハンドボール世界選手権大会は、1997年に男子ハンドボール世界選手権大会が熊本県で開催されて以来となります。

このビッグイベントをオールジャパンで盛り上げようと、全国のハンドボール経験者等による応援組織「2019女子ハンドボール世界選手権大会を大成功させる会」が設立されました。

昨年の12月18日に東京都において開催された設立の会には、湧永日本ハンドボール協会会長、蒲島熊本県知事及び大西熊本市長も出席のもと、国会議員のハンドボール振興議員連盟の方々のほか、熊本県出身の山下泰裕氏（大会アンバサダー）や小山薫堂氏等の来賓を含め、ハンドボールをこよなく愛する約150人の方々が出席され、大変盛り上がりました。

事務局としても、たくさんの方々に応援いただけることを大変心強く感じるとともに、改めて、大会を大成功させなければいけないとの思いを強くしました。大会に向けて、関係者一丸となって頑張ります。是非、観戦にお越しく下さい！



発起人である（一財）キヤノングローバル戦略研究所の福井俊彦理事長は、界友会（政財界ハンドボール経験者の会）の会長。

熊本県を本拠地とするオムロンピンディーズから、日本代表「おりひめ JAPAN」にも選出された、永田しおり選手、勝連智恵選手、石井優花選手も出席。



設立の会では、2019女子ハンドボール世界選手権大会のPR動画を披露。PR動画は大会ホームページで見ることができます。是非ご覧ください！

公式 HP  
<https://japanhandball2019.com/>



これが世界のハンドパワーだ。

女子史上初 熊本開催！

第24回 女子ハンドボール世界選手権大会

2019 11.30 → 2019 12.15

24カ国 計96試合

2019女子ハンドボール世界選手権大会

《オフィシャルサイト先行先着販売》

2019年2月3日(日)～6月20日(水)

1日券(準決勝・決勝・日本戦(予選))、各会場パッケージ、ホスピタリティチケット

大会オリジナルグッズ

| ゲームカテゴリー                        | 区分  | 1日券(パークドーム熊本のみ) |              |              |              |
|---------------------------------|-----|-----------------|--------------|--------------|--------------|
|                                 |     | カテゴリーS (指定席)    | カテゴリーA (自由席) | カテゴリーB (自由席) | 準椅子席 (エリア指定) |
| ファイナルラウンド (決勝戦・3位決定戦) 12月15日    | 大人  | ¥14,000         | ¥5,000       | ¥3,000       | ¥3,000       |
|                                 | 小中高 | ¥8,000          | ¥2,500       | ¥1,500       | ¥1,500       |
| ファイナルラウンド (準決勝戦・5-8位決定戦) 12月13日 | 大人  | ¥6,000          | ¥4,000       | ¥2,500       | ¥2,500       |
|                                 | 小中高 | ¥2,000          | ¥1,200       | ¥1,200       | ¥1,200       |
| 予選ラウンド (日本戦含む) 11月30日～12月6日     | 大人  | ¥4,000          | ¥3,000       | ¥2,000       | ¥2,000       |
|                                 | 小中高 | ¥1,500          | ¥1,500       | ¥1,000       | ¥1,000       |

| 会場         | 開催回数(予選) | 試合数(予選) | 料金      |         | ホスピタリティチケット(パークドーム熊本のみ) |
|------------|----------|---------|---------|---------|-------------------------|
|            |          |         | 5席(指定席) | A席(自由席) |                         |
| パークドーム熊本   | 5日       | 15試合    | ¥14,000 | ¥10,000 | ¥60,000                 |
| アスタドームくまもと | 5日       | 15試合    | ¥7,000  | ¥5,000  | ¥60,000                 |
| 県立総合体育館    | 5日       | 10試合    | ¥7,000  | ¥5,000  | ¥80,000                 |
| 山形県総合体育館   | 5日       | 10試合    | ¥7,000  | ¥5,000  | ¥100,000                |
| 八代市総合体育館   | 5日       | 10試合    | ¥7,000  | ¥5,000  |                         |

チケットお申込み方法

公式HP <https://japanhandball2019.com/>

お問い合わせ/チケットカスタマーセンター TEL050-5433-1080